

# どんびま

2012年4月10日発行  
発行者 椈の湖農業小学校

## タケノコ

タケノコは竹の子どもである。漢字では竹カンムリに旬「筍」と書く。今まさに旬を迎えようとしている春の食材である。

農小の4月のお昼は「タケノコごはん」のお弁当を持って椈の湖へ出掛ける。

タケノコに含まれるカリウムや食物繊維リグニンが胃のストレスや熱を取り、すぐれた整腸作用があるという。またタケノコを切ると出てくる白い粉チロシンは人間の脳内で、ストレスに強いドーパミンや集中力を高めるノルアドレナリンに変わる。

脳のエネルギー・ブドウ糖も一緒にとれる「タケノコごはん」はとても良いのだ。

生命力にあふれた竹・筍は、放っておくと植林地へも畑へも時には家の中までへもその根を伸ばして広がっていく。農家にとってはちょっと厄介者でもある。(草)



## 4月授業日のご案内

- |            |            |       |                       |
|------------|------------|-------|-----------------------|
| ●日程        | 4月22日(日)   | ●服装   | 作業のできる服装              |
| 受付         | 9:00~ 9:30 | ●持ち物  | 手袋、タオル、長靴、雨具、お茶(水筒)、箸 |
| 始めの会       | 9:30~ 9:45 |       | レジャーシートなど             |
| 授業         | 9:45~12:00 | ●郷土料理 | タケノコごはんのお弁当           |
| 椈の湖へ移動     | 12:00~     | ●締め切り | 4月16日(厳守)             |
| 昼食         |            |       |                       |
| グループ対抗大運動会 |            |       |                       |
| 現地解散       |            |       |                       |

●問い合わせ・緊急連絡 TEL 0573-75-4417 ・090-5110-9362(山内總太郎)

※雨天の場合は、予定変更が有ります。

～とくちゃんの農小レポート～

## ～第19期 私立椛の湖農業小学校入学式～

今年の冬は例年になく寒い日が多かったようですが、入学式の日も名残の寒波で、時々雪が舞うような天気、折角のロケーションも台無しでしたが、生徒たちは元気に入学式を迎える事が出来ました。

### 1 入学式。

- 1 校旗掲揚。 5. 6年生が「椛の湖農業小学校」と染め抜かれた校旗をあげました。
- 2 校長挨拶。 安保校長（通称アボニイ）から入学のお祝いと、学校設立についての苦労話が披露されました。
- 3 来賓挨拶。 青山節児新市長が入学のお祝いと、農小で農業体験を学ぶ事についてのお話がありました。  
姉妹校「荒城（あらき）農業小学校」の代表者から、今後も交流をよろしくとのごあいさつが有りました。（いつも五平餅焼きを手伝ってくれます。）
- 4 農場長の話。 農小は椛の湖自然公園の一角を借りているので、施設・設備の使用についての注意事項がありました。
- 5 先生紹介。 各グループごとに2～3人の農家先生が、生徒さん達の面倒をみますので、それぞれグループの前で紹介されました。早く顔を覚えてくださいネ！
- 6 スタッフの紹介。 農小を支えるスタッフが約30名ほどいます。主に昼食を担当する女性スタッフと、運営準備を受け持つ男性スタッフが紹介されました。
- 7 事務局より。 年間を通してのスケジュールと内容についての説明があり、19回目の入学式を閉じました。

- 2 昼食。五平もち、竹輪の天ぷら、ねぎと煮イカの酢味噌和え、ひじきのサラダ、ほうれん草のおひたし、人参の昆布和え、豚汁、つけもの。  
農小では昼食は原則として、郷土食・行事食が中心となっており、参加者にはとても好評を得ております。ご期待ください！  
今回も生徒みずから餅を握り焼きあげて食べました。

- 3 生徒紹介。 授業の前にグループ紹介を行いました。グループ毎に前に出て学年と名前を紹介しました。そのあとでグループ長を決めました。

- 4 午後の授業。 新入生にとっては初めての授業は、じゃがいもの植え付け、ホウレン草・小松菜・人参の種まきを行いました。種の形を覚えておいてネ！

- 5 椎茸菌の打ち込み。 原木（くぬぎ、くり、さくらなど）にドリルで穴をあけ、駒菌を打ち込みました。条件が良ければ来年の秋には、ニョキニョキ生えてきます。昨年植菌したものが有りますので、今年も見られますからご期待を！

～とくちゃんのちょっと一言～

今期は例年以上に低学年の生徒が多くいます。見たところ農作業よりはドローン遊びが楽しい様子です。当校では危険でない限り自由に自然を満喫してもらっていますので、父兄の方も余り心配しないで下さい。必ず其の内農作業が楽しくなりますから・・・！

～ あぼ兄の百姓ぼなし～

## 記録的な春の嵐

あぼ兄は驚いた。4月3日、高齢者運転講習でコースを走っていたら突然に窓ガラスに叩きつける雨と風。家に帰ってからも風雨はだんだん激しくなり、ビニールハウスの補強にと入ってみたが、凄い横揺れで恐ろしくなって引き上げてしまった。

テレビで各地の様子を見ていると、都心をはじめ交通機関はみだれ、遅れ・運休が続出し、空の便も欠航となった。天気図で見ると蜘蛛の巣のようにこみ合った等圧線の低気圧が、北上するにつれ被害も広がり、東日本大震災の避難住宅の屋根が飛んだり、電柱が800mにもわたり倒れたり、秋田では風速40mを記録したと伝えていた。

春の嵐は台風並に発達した爆弾低気圧によるものだった。これは地表付近で南からの春の暖気と北からの寒気がぶつかり、さらに、上空の気圧の谷が重なり合っただけで急速に発達したものと云われる。これだけ日本中を荒した春の嵐は珍しいと云う。

異常気象も最近では当たり前の事ようになってしまっているが、嵐の日、北海道では大暴風雪となって4月に入ってから積雪55cmは平年の3倍だと云う。高山市ではこの14・15日に春祭りをひかえているのに、雪が15cmも積った。

今冬は東北や日本海側では記録的な降雪だったと云われるが、この地方では寒さは厳しかったが雪かきを一度もしなくて済んだほど積雪は少なかった。あぼ兄が覚えのある内で初めての事だ。これは珍しい事だけでなく、このウラが来るぞと心配していたら、早速その予感が当たってしまった。

この近所でも、小さな小屋は倒れ、ビニールハウスにも被害が出た。あぼ兄も大小15棟のハウスの内5棟がやられた。被害そのものは小さかったが、補修には結構時間がかかった。

心配していた農業小学校の物置きハウスは青いビニールシートが半分めくれ上がった。見回りに来て下さった糸魚川先生から連絡を受けて、翌4日に補修に向かったが、強風で作業が出来なかった。5日の朝、改めて先生方数名を頼んで小雨の中作業して、なんとか雨を凌げるようになった。

6日の朝も気温はマイナスが続き、近くの山々は雪で真白くなり、平地でも雪が舞った。今年の冬は寒さが厳しかったし、3月になってぶり返した寒さが続いている、梅は3週間遅れといていたが、それ以上になっている。

4月8日は椛の湖のさくらまつりだったが蕾はまだかたく、開花はかなり遅れそうだ。農業小学校の運動会ころは花の盛りになるかもしれない。

農業小学校の畑、皆で蒔いたコマツナ、ホウレンソウもまだ芽が出てこない。

春は風と乾燥に悩まされるものだが、今年は連日の悪天候で乾燥はないものの、強風と寒気で楽しみのお山菜も遅れている。北国のある地方では立春の後、雪を交えずに雨だけが降る日を「雨一番」と呼ぶと云う。

待ち遠しい春である。



風と聞くと吹き散らす・放射能・原発と連想してしまう昨今、気にかかるのは福井県の大飯原発である。報道によると政府は今週中にも再稼働に向けた安全宣言を出す模様だ。日本の原発54基が全て止まることはダメなことなのか？ 誰のメンツの為か？ 地元の声が届かないまま発進してしまうのか？

地元とは、20km・30kmの円内というが、風速が30mになれば、円外の岐阜は言うに及ばず、200km、300km、日本列島横断もあつと言う間だと云う。

寒い日が続く中で、さらに背筋が寒くなる話である。

## ～かなちゃんの虫日記～

自分で種をまいたり、田を植えたりした野菜がとんとん大きくなっていくのはたのしみですね。そして、そのときにもれなくついてくるのが、葉や実や根を食ったり、汁をすったりする虫たちです。わたしはかわいいしおもしろいなと思うのですが、全国的に野菜をたべる虫は害虫とよばれます。

- たとえば
- キャベツやブロッコリーをたべるモンシロチョウの幼虫 
  - インドウやソラマスの汁をすうヒゲナガアブラムシ  などなど

他の野菜がまらいでソラマスの葉がすたからソラマスをたべる、というのではなくて、それしかたべられない体なのです。害虫たちにしてみたら、たべものが一面にあふれている畑はもうパラダイスですよ☆

でも世の中はそんなに甘くありません。虫しかたべない、という肉食の虫たちに害虫はたべられてしまいます。この肉食の虫は天敵とよばれます。



害虫なんてみんないなくなればいい!と思うかもしれませんが、害虫がいないと天敵はたべることがなくなり、生きていけません。害虫もいて良いです。